

食の感動で、この星を満たせ。

TORIDOLL→

News Release

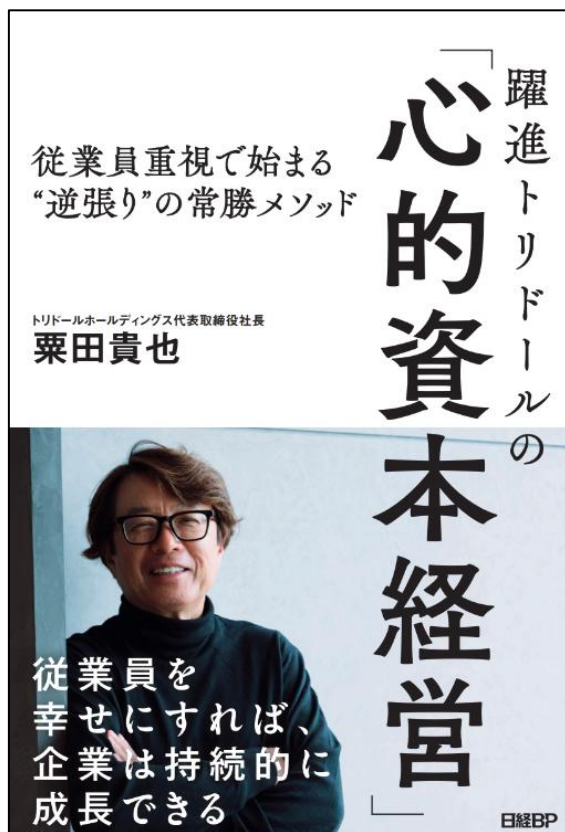
2026 年 9 月 28 日

トリドールホールディングス初の経営書

『躍進トリドールの「心的資本経営」

従業員重視で始まる“逆張り”の常勝メソッド』を発刊

「心的資本経営」を原動力に、世界中へ食の感動体験を提供する株式会社トリドールホールディングス（東京都渋谷区、代表取締役社長 兼 CEO 栗田 貴也、以下、トリドール HD）は、当社が推進する「心的資本経営」の考え方と実践をまとめた書籍『躍進トリドールの「心的資本経営」従業員重視で始まる“逆張り”の常勝メソッド』を 2026 年 9 月 29 日（火）に発刊いたします。



本書では、外食産業を取り巻く「働き手不足」や「コスト高騰」といった構造的課題に対し、従業員の幸福実感を高めることで企業の持続的成長を実現する「心的資本経営」の考え方を体系的に解説します。栗田貴也がなぜ「従業員を幸せにすることが企業成長の原動力になる」と確信するに至ったのか、その背景や実践のプロセスを自らの言葉で語っています。

トリドールグループでは、従業員の幸福実感を「安心感」「つながり感」「貢献実感」「誇り」の4要素で捉え、データサイエンスを活用しながら経営に反映する取り組みを進めています。本書では、その独自モデルである「ハピカン繁盛サ

イクル」※1の考え方や、従業員の幸福実感とお客さまの感動、そして事業成長との関係について紹介しています。

また、グループ全体で展開している社内コミュニティ「ハピ→カン！コミュニティ」や、従業員の幸せの状態とお客さまの感動の強さを可視化する「ハピカンダッシュボード」※2 など、心的資本経営を支える具体的な施策についても詳しく解説しています。経営理念やビジョンを組織に浸透させる仕組み、従業員同士のつながりを強化する取り組み、データに基づく組織マネジメントの実践事例などを通じて、これからの時代に求められる新たな経営のあり方を提示します。さらに、全国の自治体との包括連携協定や地域イベントへの参画、食育活動など、トリドールグループが実践する地域貢献活動の事例を多数紹介。地域とのつながりが従業員の誇りと企業価値を高める好循環についても描いています。

本書は、経営者や人事責任者、店舗運営に携わるマネジャーはもちろん、組織づくりや従業員エンゲージメント向上に関心を持つすべてのビジネスパーソンに向けた一冊です。人手不足や価値観の多様化が進むなかで、企業が持続的に成長するための実践的なヒントを提供します。

※1 従業員の幸福感（ハピネス）とお客様の感動（カンドウ）、店舗の持続的な繁盛の循環

※2 ハピカンダッシュボード：従業員の心の満足度を計る「ハピネススコア」、お客さまの食後の感情を計る「感動スコア」、店舗の売上などの「繁盛スコア」を集約・可視化し、AI が店舗ごとの気づきや改善アクションを提案する店舗向けダッシュボード

著者コメント

企業の持続的な成長の原点は、働く人たちの幸せにあると考えています。一人ひとりが幸せを感じ、誇りを持って働く。その幸せがお客さまの感動を生み、企業の成長につながっていく。本書では、トリドールグループが実践してきた『心的資本経営』の考え方と取り組みを、私自身の経験を交えてお伝えしています。これからの企業経営や組織づくりを考える一助となれば幸いです。

書籍概要

書名： 『躍進トリドールの「心的資本経営」
従業員重視で始まる“逆張り”の常勝メソッド』

著者： 栗田貴也
(株式会社トリドールホールディングス代表取締役社長 兼 CEO)

定価： 1,980 円（税込み）

ISBN： 978-4-296-21038-1

発行日： 2026 年 09 月 29 日

発行元： 日経 BP

ページ数： 256 ページ

内容

1. 心的資本経営で企業は進化する
2. データサイエンスで科学的に検証
3. ハピカン経営を推進する取り組み
4. “心”に重点を置く評価制度
5. 社会・地域貢献が成長の鍵となる
6. 「感動体験」から「ハピカン」へ
7. 心的資本経営で拓くリテールの未来

トリドールホールディングスについて

「食の感動で、この星を満たせ。」をスローガンに掲げ、さまざまな業態の飲食チェーンを展開し、味覚だけでなく五感が揺さぶられる、本能が歓ぶほどの感動を探求し続けています。

トリドールグループは「心的資本経営」を原動力に、従業員の“心の幸せ”とお客さまの“心の感動”を生み出し、持続的な事業成長を目指しています。

今後も「食の感動体験」をどこまでも追求し、世界中で唯一無二の日本発グローバルフードカンパニーを目指して、予測不能な進化を遂げるため、国内のみならず海外での展開を積極的に推進してまいります。